



ひまわり



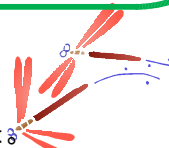
阿見第二小学校

令和6年9月17日

NO.5



さて、どんな夏休みでしたか？



夏休みが終わり、子供たちも私たち教職員も、いわゆる“通常運転”がすっかり戻ってきました。9月2日の夏休み明けの初日は、体育館で集会を行いました。暑い中でも集中して話を聞く、全校児童の態度が大変立派で、子供たちの成長を感じ嬉しく思いました。各クラスの授業を見て回っても、落ち着いている様子が見られました。保護者の皆様が、子供たちを見守り、学校再開に向け、生活リズムを整えてくださったことに感謝申し上げます。

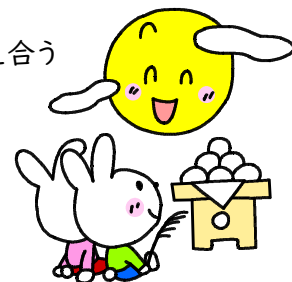
夏休みにはいろいろなことが話題になりました。とにかく暑かったこと、パリオリンピック・パラリンピック、夏の高校野球大会など、皆さんにとって暑い、熱い夏だったかと思います。

この夏、目が釘付けになったのは、やはりパリオリンピックです。日本勢の活躍にとっても感動しました。しかし、好成績を残すことができた選手がいる一方で、思ったような結果にならなかった競技や涙する選手もいました。その頑張る姿から学ぶことも多いことも、スポーツの醍醐味かもしれません。

これに対し、残念なことに、選手や審判、運営に対する心無い『誹謗中傷』がSNS等で見られたことも話題になりました。何年もオリンピックでのベストパフォーマンスに懸けてきた選手の想いを考えると、やりきれない気持ちにさせられます。そして、SNS上でこんなにも簡単にコメント・批判できることは、とても恐ろしいことだと感じました。いわゆる『ロコミ』等も同様で、発言することや投稿することの責任の重みを感じなければ、危険なことだと考えさせられました。

オリンピックを通じて、競技者も観客も、そして視聴者も、お互いを思い合い、そしてたたえ合う心が必要であり、これはスポーツだけでなく、学校現場においても、それが学べる場でありたいと感じました。「言うは易く行うは難し」という諺がありますが、子供たちには、時に自分の発する言動が、自分にとっても相手(友達等)にとってもどのような影響を与えるかという“想像力”を育てていく必要と考えています。

いよいよ学期末です。職員一同、子供たちのために頑張っていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



いざ！への備え

夏休み前には「交通」「海・川」「ネット」の安全についてご協力をお願いしました。おかげさまで、子供たちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく過ごせたことに安堵しています。

夏休み中に話題になったことに、『南海トラフ地震臨時情報の発表』もありました。大きな地震が相次ぎ、改めて「備えること」を再認識することになりました。店頭のお米が品薄になったのは1993年(平成5年)以来。家庭でも生活必需品を買い置きしたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

家にいるときはそれで良いかもしれませんが、学校に職場に、休日で外出中と、家族がバラバラの時間帯に災害が起きた時、各ご家庭ではどう対応するか、話し合われてみてはいかがでしょうか？

まず、各ご家庭のエリアにはどのような災害が予想されているか、知っておきましょう。阿見町ホームページには、『町のハザードマップについて』が公開されているので、確認してみましょう。

次に、『マイ・タイムライン』の作成です。マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。市区町村が作成・公表したハザードマップを用いて、どのような避難行動が必要か、また、どういうタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えるものです。もちろん、洪水に限らずあらゆる災害を想定し、備えていくことが肝要です。

学校でも、地震・火事・不審者対応・アレルギー対応等、教職員も子供たちと共に対応のための訓練を行っています。また、校外では、保護者の庇護の下で行動していた幼児期とは異なり、小学生は行動範囲が大きく広がります。それだけに多くの危険に出合う可能性が高くなり、自分自身で安全な行動を選択することが求められます。学校として、引き続き危険予測・回避能力を育成していきます。



実感がわきませんが……すでに秋です。汗ばむ日が続いていますが、スーパーマーケットの店頭で新米や栗、ぶどう等の秋の味覚を見かけることで、ようやく感じているのは私だけでしょうか？(食欲の秋しかない?)

今後は運動会を始めとした行事が多くなる時期でもあります。そして、いよいよ10月11日をもって1学期終了となります。学習のまとめをしっかりと行いつつ、子供たちが充実した日々を送ることができるよう、努めてまいります。

